

# 10-K-99 フリルバッグ

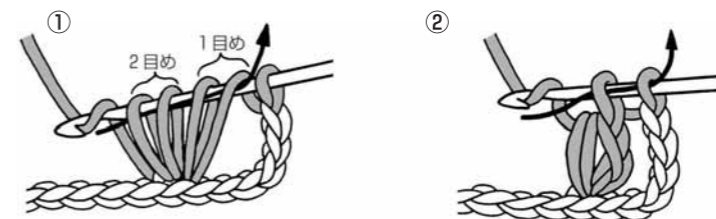
デザイン/草島あきこ

- 材 料/ラッフル(50gかせ) 各色…30g=1かせ  
リュクス(30g玉巻) 各色…40g=2玉
- 用 具/4/0号かぎ針
- 付属品/持ち手金具(金古美色・幅16cm)…1本
- ゲージ/模様編み 20段が14cm
- サイズ/約 縦15.5cm×横17cm(持ち手は含みません)
- 編み方要点

- ①本体を編みます  
リュクスで鎖4目の作り目で目を作り、図を参照して模様編みで26段まで編みます。入れ口は裏側に折り返し、指定位置に鎖編みと引き抜き編みで、はぎ合わせます。(2枚編んでおきます)
- ②フリルを編みつけます  
本体の一段めにラッフルをつけ、図を参照して引き抜き編みで11段まで編みつけます。続けて鎖80目を編んでから指定位置に通します。
- ③花モチーフを編みます  
ラッフルで鎖92目を編みます。リュクスをつけ、図を参照して細編みで花モチーフを編みますが、つなぎ部分を編みながら5個続けて編みます。
- ④仕上げをします  
本体は中表に合わせ、細編みと鎖編みであき止まり位置までとじ合わせます。脇あき口を細編み1段で整えてから、見返し部分を図の様に編みます。花モチーフは本体の指定位置の裏側から表に押し出し、形を整えます。つなぎ部分と花モチーフを本体の裏側で縫いつけます。持ち手の金具を入れ口に通したら、脇あき口の見返し部分を折り返し、本体にまつります。



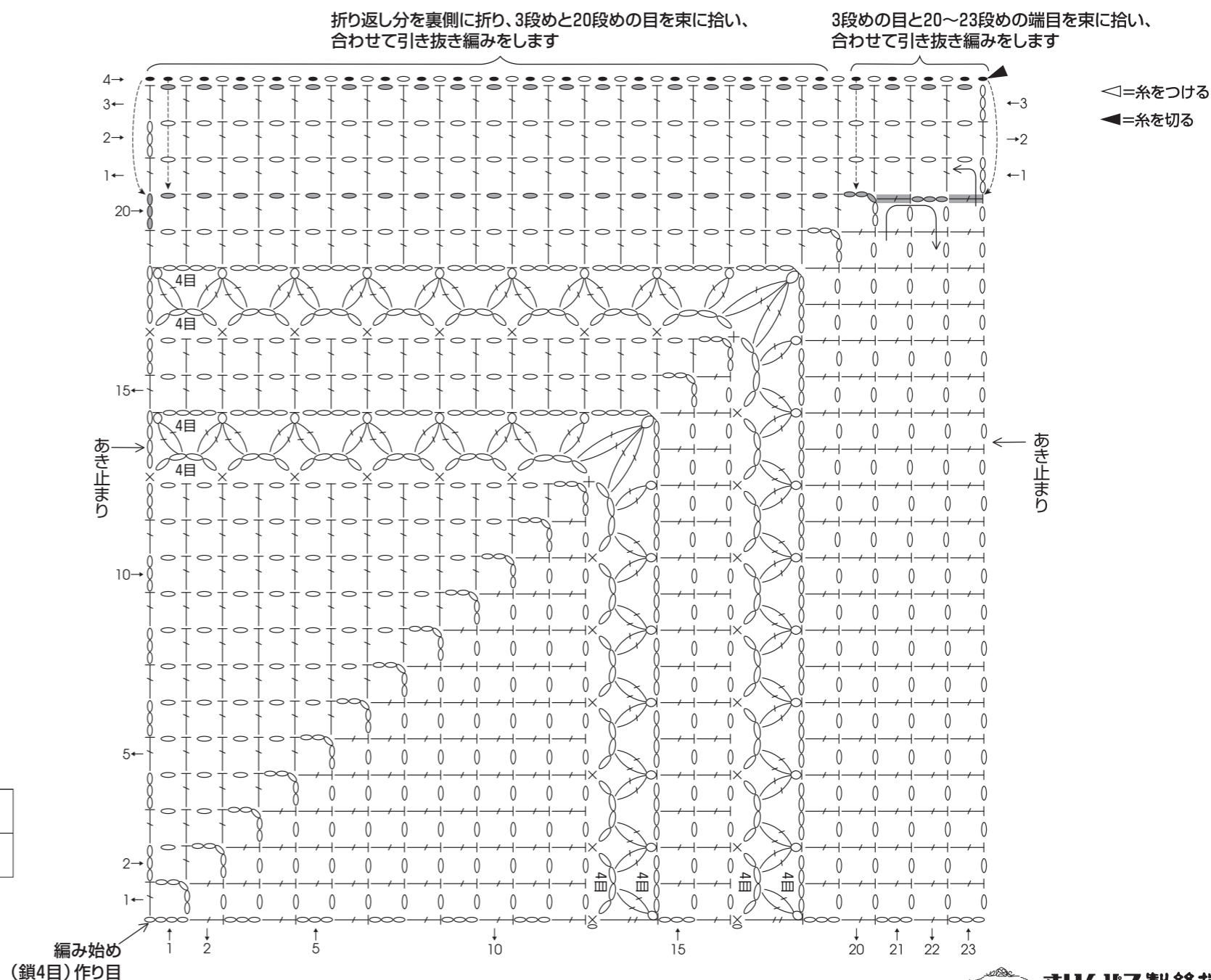
## ＜参考資料＞ 変わり玉編み



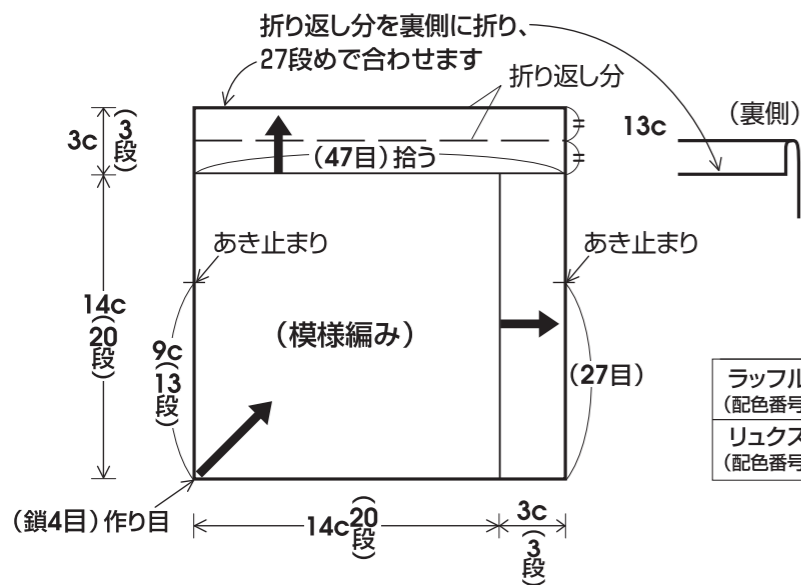
1目から未完成の中長編みを2目分編み出し、4ループを一度に引き抜きます  
さらに糸をかけて残りの2ループを引き抜くと、1目が出来上がります

※作品は 変わり長編み2目の玉編みで編みます。  
※ 変わり長編み2目の玉編みは、と同じ要領で未完成の中長編みを長編みに変えて編みます。

## ①本体を編みます(リュクス)2枚(模様編み)



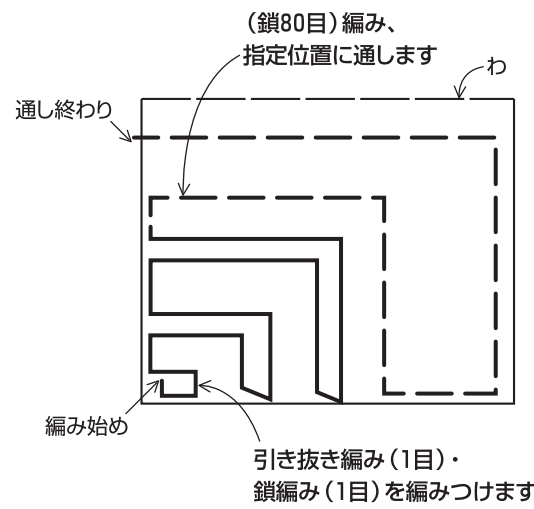
## ①本体を編みます(2枚) (リュクス)



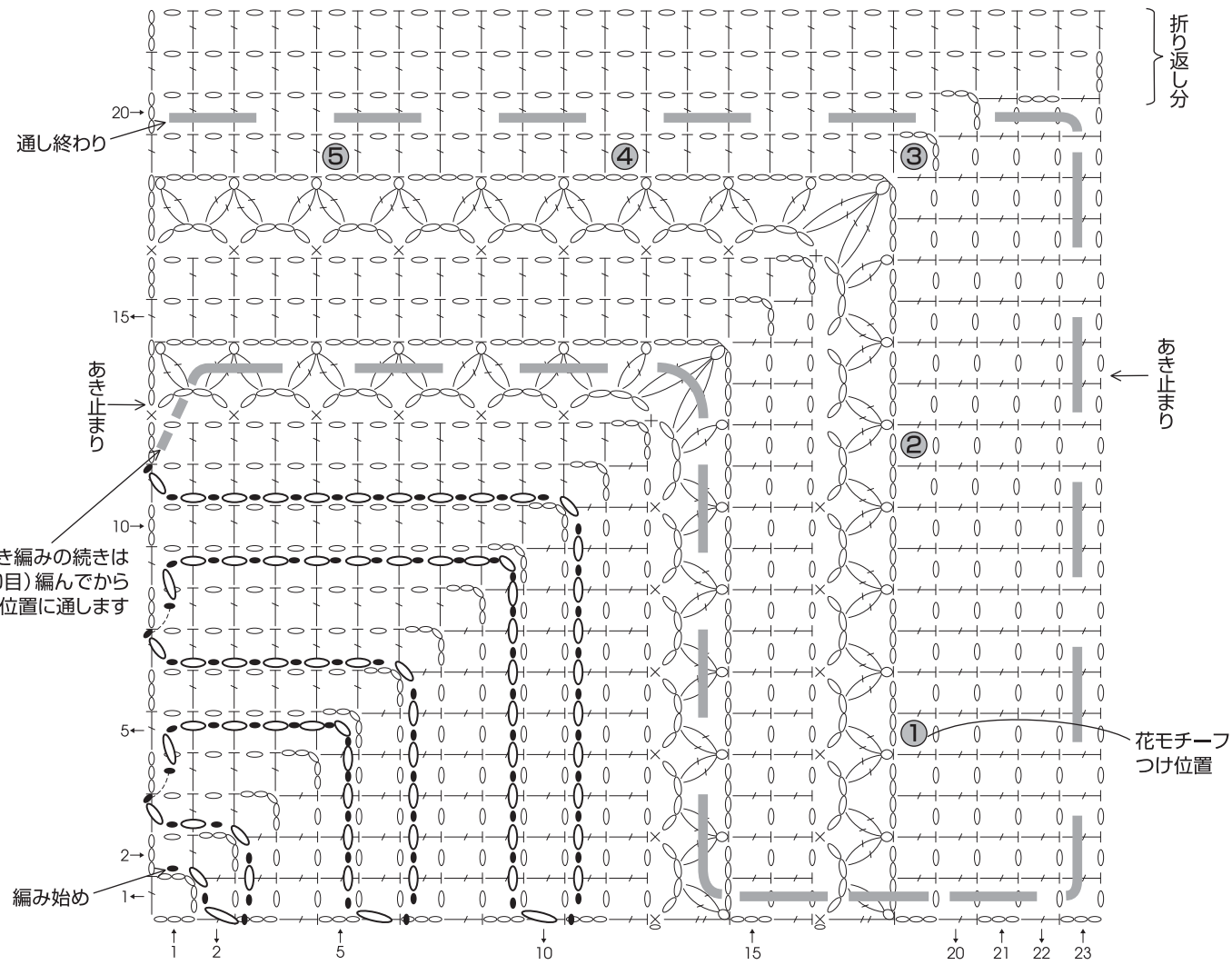
バッグの組み合わせ配色

ラッフル (配色番号)	1	2	3	4	5	6
リュクス (配色番号)	7	1	8	6	3	8

②フリルを編みつけます(2枚)(ラッフル)

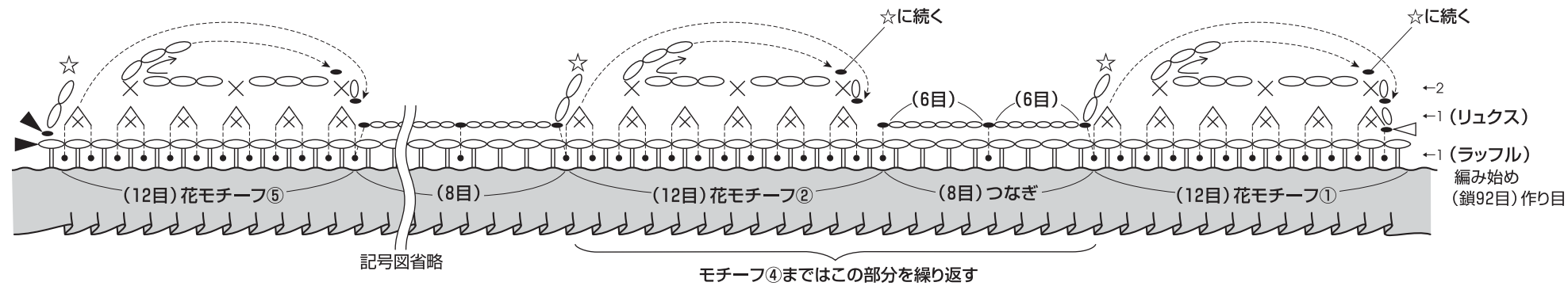


引き抜き編みの続きはラッフルで(鎖80目)編んでから指定位置に通します



○=鎖編み目  
●=引き抜き編み目  
編み方は10-K-99③/③(ラッフルの編みつけ方)参照

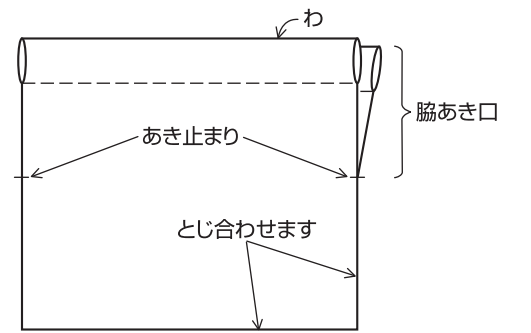
③花モチーフを編みます ※編み始めと編み終わりの糸端は2~3目残します



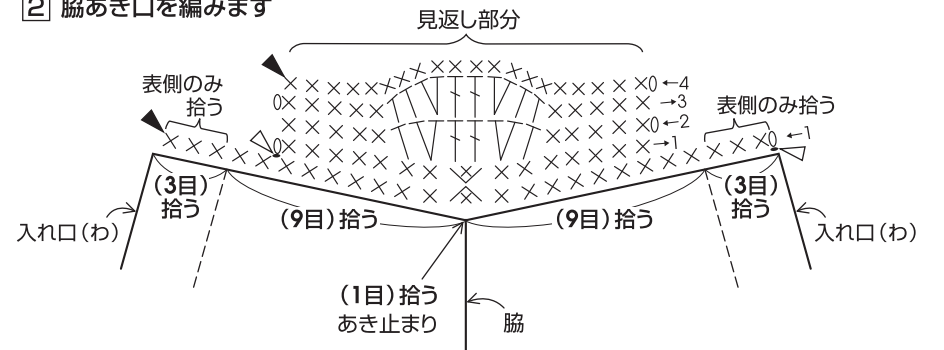
※リュクスの●と△はラッフルの鎖目を束に拾います

④仕上げをします

① 中表に合わせ、細編み(1目)と鎖編み(1目)でとじ合わせます

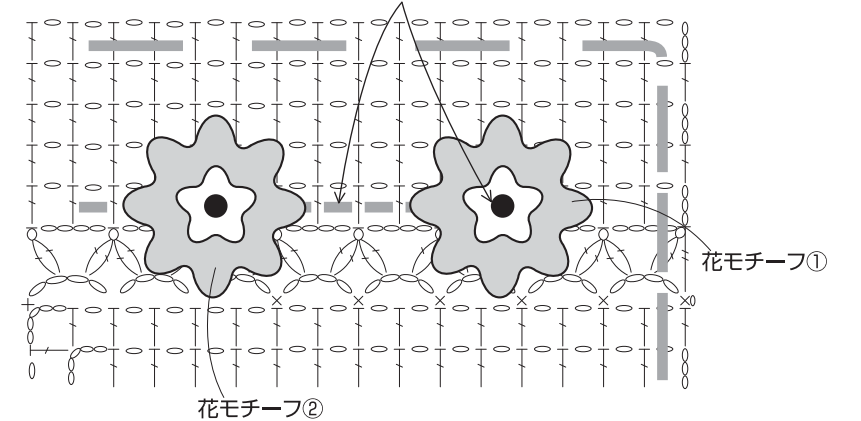


② 脇あき口を編みます

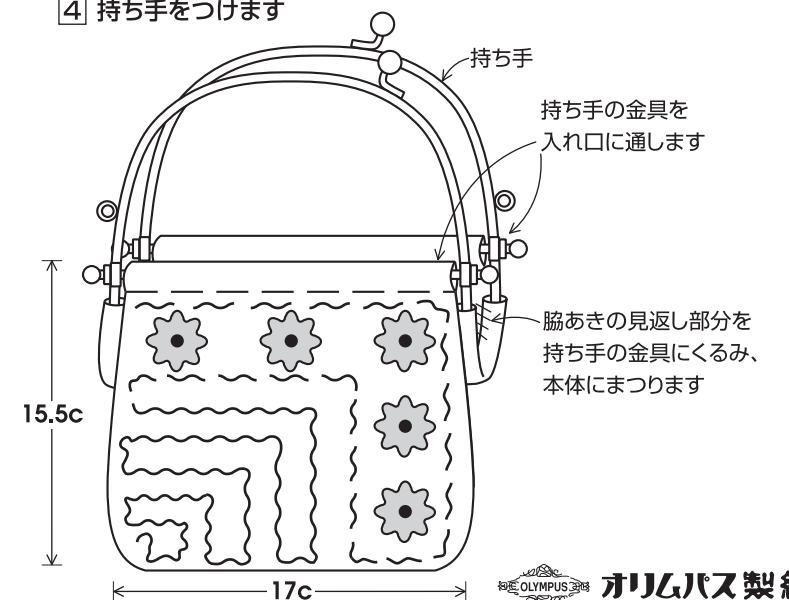


③ 花モチーフを指定位置の裏側から表側に押し出します

リュクスで花モチーフの中心とつなぎ部分を裏側から本体に縫いつけます



④ 持ち手をつけます

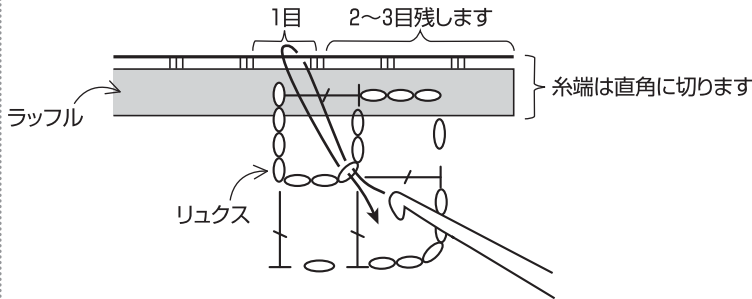


〈参考資料〉

ラッフルの編みつけ方

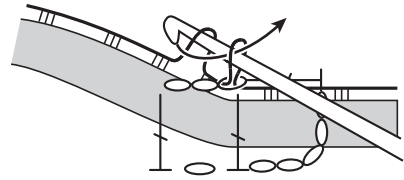
※ラッフルを編地の向こう側において編地の手前からかぎ針を入れます

① 編み始め (糸のつけ方)



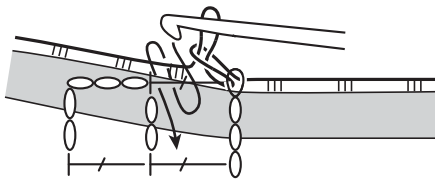
編み地の編み始めの目に針を入れ、  
ラッフルの目を矢印のように拾って引き出します

②



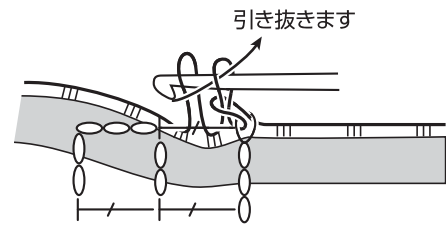
次の目を針にかけ、矢印のように引き抜きます  
(編み始めの引き抜き編み)

③ 引き抜き編みを編みます



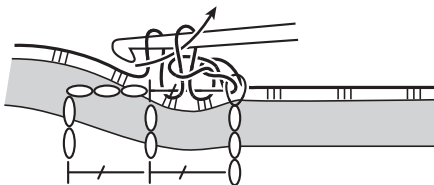
引き抜き編みは、編地の下から針を入れ(束に拾う)、  
次の目を拾って矢印のように引き出します

④



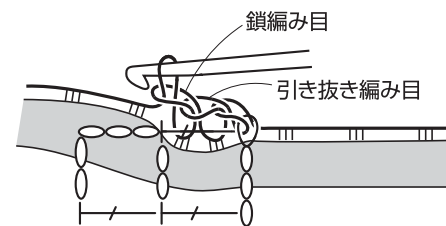
引き出した目を矢印のように引き抜きます

⑤ 鎖編みを編みます



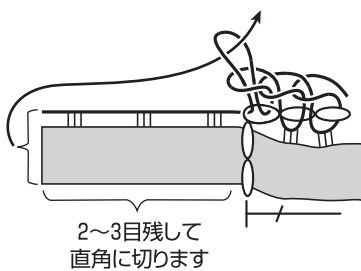
鎖編みは、次の目を針にかけ矢印のように  
引き抜きます

⑥



●○ = ③~⑤を繰り返します  
ラッフルの鎖編み (80目と92目分) は⑤~⑥を  
繰り返します

⑦ 編み終わりの糸端は、最後の目を通して引き抜きます



※引き抜いた糸端は、編地の中にフリルに  
なるように、ゆるめに通して始末します  
(編み始めの糸端も同様に始末します)